

第2回会合資料

総務省

『パーソナルデータの利用・流通に関する研究会』について

2012年11月5日

ジャパン・クラウド・コンソーシアム

M2M・ビッグデータWG

総務省『パーソナルデータの利用・流通に関する研究会』

研究会概要

● 背景・目的

- ビッグデータ利活用による新ビジネス創出・国民の利便性増大と、その一方で個人情報・プライバシーへの不安が生じている。またICT・クラウドサービスによる国境を越えたデータ流通も容易となっており、国際的に調和の取れた情報流通とプライバシー保護の双方の確保が必要。プライバシー保護等に配慮したパーソナルデータのネットワーク上での利用・流通促進に向けた方策を検討する

● 体制

- 座長：一橋大学名誉教授 堀部先生 副座長：中央大学教授 辻井先生
- 事務局：総務省セキュリティ室
- 構成員：経団連、京都大学、慶應大学、三鷹市、情報通信研究機構、日本データ通信協会、MS、楽天、ヤフー、NTT(研)、KDDI、IBM、富士通、日立、NEC、他

● 第一回会合での議論の方向性

- データの利活用とプライバシーの確保のバランス
- 国際協調の仕組み

本研究会に対するWGとしての今後の対応へのご意見

- 短期間のTFによる集中的な対応、SWG化し継続的に議論、研究会の方向性を見極めて再検討、など

(参考) 研究会スケジュール (第一回資料抜粋)

